

magis

St. Ignatius Church



『マジス』はラテン語で、イエズス会のモットー「神のより大いなる栄光のために」を表しています。

教会テーマ『勇気と寛大な心をもって出かけて行きなさい』(教皇フランシスコ)―「ミッション2030」―福音を伝える

ご注意ください

- ・ 8月15日(水) ~ 8月31日(金) 告解はお休みです。
- ・ 8月15日(水) 聖母の被昇天の祭日 平和祈願ミサ
7:00 10:00 12:00 (英語) 18:00 ※8:30と13:30 (スペイン語) のミサはありません。
- ・ クリプタに安置され8月に命日を迎える方々のためのミサは8月22日(水) 12:00 になります。

福音宣教と聖体礼拝

聖イグナチオ教会は、今年度「福音を伝える」という目標を掲げて、「沖に漕ぎ出し」ました。

教会のこの活動を支える原動力となるよう、五月からは「聖体礼拝」が始まりました。毎木曜日の夕ミサ後、ザビエル聖堂で、皆さんとともに捧げる聖体礼拝の祈りの力が、大きなうねりとなって高みへと挙げられていくように感じています。

イグナチオ教会は「ミッション2030」を目指して、刷新のときを生きています。信徒一人ひとりが受けているミッションを深めるために、その原点にさかのぼってみる必要があるように思います。いうまでもなく、その泉はイエス・キリストです。私たちのミッションは、このイエス・キリストのうちに、キリストによって聖なるものとされ、奉献されるからです。

いつも朝早く静かなところに退いて祈っておられるイエスの姿を、聖書は語っています。「父が私をお遣わしになったように、私もあなたたちを送る」と言われるイエスは、常に御父を観て、御父との深い交わりの内に、ご自分の使命を受けとり遂行されました。私たちがそのイエスを観想することは、御父との深い関わりの中に生きておられるキリストを仰ぎ見ることです。キリストの派遣に参与するよう呼ばれている私たちも、常にこの視野に立つてみなければなりません。私たちはいつも御父に向かい、そして人々に向かうキリストの心を持って、喜びの使者となるミッションを受けているのです。

聖体礼拝は聖イグナチオの精神に基づく使徒的な祈りでもあります。聖イグナチオは弟子たちに、神との一致を求める密度高い祈りの必要性を強調しています。「神の協力者」であるためには、遣わされた方をよく聴く心の姿勢が必要だからでしょう。聖体礼拝を通して、私たちは神との深い親しさに招か

れています。そして、この愛の秘跡を絶えず仰ぎ見るなら、どこまで神と人々に自己を与えねばならないか、思い起こさずにはいられません。

聖体礼拝のもう一つの側面は、使

徒的働きで現場で出会う出来事や人々をご聖体の前に運び、現代の苦しみ悩む世界のために祈ることです。その意味では、聖体礼拝そのものがミッションの役割を持っているといえます。使徒的働きからくるこうした祈りを、ご聖体におられるキリストを通して捧げることによって、活動と祈りが一つになります。

私たちキリスト者は、福音の喜びを運ぶために派遣された者です。

この使命を遂行するために、すべての恵みの泉であるご聖体に絶えず帰らなければなりません。このような聖体礼拝を行う中で、神との出会いを深め人々のもとへ派遣されるとき、祈りと活動が統合され、私たちのミッションは、実にイグナチオ的でダイナミックなものとなるでしょう。



援助マリア修道会
杉原 法子

8月の共同祈願

聖母被昇天の喜びのうちに祈ります。
あふれる愛をたえず注いでくださる御母マリアに倣い、
私たちが互いに、手をさしのべあい支えあって、
信仰の道を日々歩んでいくことが出来ますように。

マリアへの賛歌

わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である
神を喜びたたえます。身分の低い、この主のはしめにも
目を留めてくださったからです。
今から後、いつの世の人も、
わたしを幸いな者と言うでしょう。
力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。
その御名は尊く、その憐みは世々に限りなく
主を畏れる者に及びます。

(ルカ 1・46～50)

9月の共同祈願

殺伐とした現代に生かされている 私達
皆々 日々 思いは違えど主日に祈る気持ちは同じです。
心を落ち着け祈りましょう。
心の光、心の自由を取り戻す事が出来ますように。
新たな希望を得ることが出来ますように。

(解説)

日常生活において自分自身をふりかえり反省するのは
大切な事です。そして新たに希望という素晴らしい現在
未来を掴んで生きる糧として共に歩んで行きましょう。

今日の私達の生活は急ぎすぎているような気がし
ます。時には立ち止まって深呼吸をしましょう。神
様は皆の心の内におられます。

み言葉より

コリントの信徒への手紙 二 5章 17節
キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造さ
れた者なのです。
古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。

「ミッション2030」－福音を伝える③

ミッション2030「福音を伝える年」の取組み状況について (中間報告)

「ミッション2030」は、昨年度の「祈りを深める年」に続いて、本年4月からは「福音を伝える」という、私
たちの応答を問う新たなテーマに向き合い始めています。

皆さまもご存知の「ミッション2030」の前文の中に、「自分たちの殻に閉じこもることなく、いつくしみの扉
を開く」という一節がありますが、この一年間のキーワードは、「門を開く」(繋がり・柔和さ・自由の回復)で
はないかと思っています。そして私たちは、それらに対し以下の三つの方向から取り組みを始めています。

- ① 私たちが外に出るために門を開くこと (各自の固有のミッションに気付いてゆく)
 - a) 「福音ワークショップ」(ヨセフホール：自分の現実に基づいた分かち合い)
 - ・ 第1回 4月22日：「あなたにとって福音とは」(参加者160名)
 - ・ 第2回 7月1日：「自分にとって福音を生きるとはどういうことか」(参加者133名)2回とも英神父様の導入の後に30以上の小グループに分かれて分かち合いを行い、グループ毎にキーワ
ードの発表がなされ、深い気付きと喜びが生まれています。
 - b) 教会祭「福音を喜び合う集い」(ザビエル聖堂)
- ② 外の人たちが中に入るために門を開くこと
 - a) 「ウェルカムテーブル」(教会に繋がりや助けを求めて来られる方々との関わり)
教会の正門付近にその様なコーナーを設けるべく、評議員・司祭団と協議を始めており、本年秋以降の試
行的な実施を視野に検討をしています。
 - b) 「信徒による入門講座開設の準備」
東京教区主催の「入門講座担当者養成講座」(本年9月開始)への当教会からの派遣者の募集を6月に行
い、準備を進めています。
- ③ 祈りの継続
祈りなくして、私たちは福音を伝えることは出来ないと考えています。昨年からは開始した「祈りのカード」
のバトンを引き継ぎ、本年度は各活動グループの皆様へ毎月のカードのご作成をいただき、豊かな祈りが
生まれ続けていることは、皆さま既にご存じの通りです。

当教会は、信徒数が多く「小さな共同体の集まりが聖イグナチオ教会である」と言われます。特に、上記①
-a)の「福音ワークショップ」では受洗後まだそれほど経っておられない方々が多く参加され、新たな繋がり
が生まれ、来年度の「共同体を生きる」にも発展し得る場になっております。今後は、ミニワークショップを
9月2日(日)午後1時からヨセフホールで、また第3回福音ワークショップを11月4日(日)午後3時から
同じくヨセフホールで開催致します。

(AP-2 内田 正)

堅信のお恵みに与って

6月24日、洗礼者聖ヨハネ誕生の祭日に、菊地大司教様の司式のもと、おかげさまで堅信のお恵みに与ることができました。これまでご指導下さった神父様、シスターはじめ多くの方々に、心より感謝申し上げます。

2月の寒い頃、教会より案内をいただきました。堅信という言葉や、大切な秘跡のひとつであることは聞いていても、意味についてはよくわかっていませんでした。洗礼を受けて信者にはなったものの、「これでいいのだろうか、まだまだなのではないか」と、どこか戸惑いの気持ちがありました。

準備講座では、堅信の秘跡によって信仰が強められること、ここがゴールではなく、自立した信者としての出発点になることなどをわかりやすくお話しして下さいました。急に何かが変わるわけではないけれど、気持ちを新たに作る決意が少しずつできてきたように思います。

お式が進んでいくなか、この日を迎えるまでに出会い、導いて下さった方々のことを思い出していました。文語体のお祈りを暗唱していた幼稚園の頃、恩師のシスターと出会った高校時代。長い空白を経て、娘が通う学校の保護者向け講話会の講師でいらしたガラルダ神父様のお話しが聞きたいと、入門講座の扉を叩いたのは6年前のことです。最初は受洗



の意志も固まっておらず、お話しを聞くだけでいいからと入門式のお勧めも辞退していました。けれど、もっと知りたい、もっと親しくなりたいという気持ちがだんだんと芽生えてくるようになり、今年の復活祭に洗礼のお恵みに与ることができました。

そして、堅信のこの日、今まで神様はずっと近くについて見ていて下さり、この時を選んで下さったのだと信じることができました。信仰生活はまだ始まったばかりですが、感謝と謙遜の心を忘れずに歩んでいきたいと思っております。

マリア エリザベト 山本 泰子

新たな試みでお祝いする『敬老ミサ』と『長寿の集い』

国民の祝日である敬老の日に因んで、聖イグナチオ教会ではこれまで毎年9月の土曜日に「長寿の集い」を開催し、ミサと茶話会でお祝いしてまいりました。

しかし、対象となる75歳以上の信徒数が、今年度は2,000名を超えるに至り、さらに今後もしばらく増えつづけることを想定し、「長寿の集い」開催方法の見直しが必要となりました。

ミッション2030の「共同体を生きる」推進チームをはじめ、関連する各活動グループで話し合いを重ねた結果、今年度より『敬老ミサ』と『長寿の集い』を別日に分けて長寿の皆さまにご案内する運びとなりました。前述の通り対象者の増加への対策ということもさることながら、この新たな試みの基本として、つぎの2点を重視いたしました。

1. 多年にわたり教会につくしてこられた皆さまに共同体全体で感謝し、お祝いする。
2. ご高齢の信徒同士の絆を深め、共に信仰生活を歩み、喜びわかち合える機会をふやす。

『敬老ミサ』9月16日(日) 主日10時のミサ 主聖堂

一般信徒の皆さまと共に祝いいたします。ご希望の方はミサ後「病者の塗油」を受けることができます。

『長寿の集い』は10月8日(月・祝)または10月27日(土) ヨセフホール

当教会75歳以上の所属信徒の皆さまには、すでに教会よりご案内が届いていることと思います。詳しい内容をご案内状でご確認の上、返信シートにご記入いただき、8月末日までに同封の封筒にてご投函ください。

ミッション2030
「共同体を生きる」推進チーム

教会の夏休み

事務室と信徒会館

8月1日(水) ~ 8月31日(金)まで、
信徒会館は19時に閉館いたします。

クリプタ

クリプタは平常どおり(9時~16時)お参りできます。

メリエンダ

9月9日(日)までお休みさせていただき、
9月16日(日)から再開いたします。

教会案内所

8月13日(月) ~ 8月18日(土)夏休みです。

7月の宣教司牧評議会から

- ・6月24日(日) 菊地功大司教主司式のもと、137名の方が堅信の秘跡に与りました。
- ・7月1日(日)の江戸殉教者巡礼には100名程が参加された。
- ・聖イグナチオの取り次ぎを願う9日間の祈りの間、ザビエル聖堂で夕方のミサ後、聖体礼拝を行うこととした。

財務報告

- ・5月6日(日)世界広報の日の献金1,206,517円は雑誌、インターネット、テレビなどの広報媒体を用いた福音宣教に使われます。
- ・6月24日(日)聖ペトロ使徒座への献金969,514円は全世界の人にいつも心を注ぐ教皇様の活動のために捧げます。

新しく協力司祭が来られました

はじめまして、酒井陽介と申します。寂しいお別れの続いたこの教会に、ひょんなことからやって参りました。少しは皆さんと笑顔を分かち合えるでしょうか。

日本に戻って来るまでの数年を論文執筆に費やし、気晴らしで散歩に出たり、図書館に行ったりする他は、基本、室内にこもる生活をしていました。そんな私は空を眺めるのが好きです。留学中は、人で溢れかえっていた街の真ん中に暮らしていましたので、自然に視線が上に向かい、様々な表情の空を部屋から、屋上から、そして通りから眺め、味わっていました。不思議とところが解き放たれる大切な時間でした。空を見つめるといよりは、空と雲の色合いを愛で、建物と自然の造形の気に入った構図を見つけるのが、楽しみの一つでした。

私たちは、ここをあげて(スルスム・コルダ)、神を仰ぎ、自分の立ち位置や進む方向、そして、他者の在りように心を向け、日々の営みのうちに捧げていきたいものです。よろしく願います。



【ワールドユースデー 2019 パナマ大会】 派遣者決まる！

2019年1月に開催される【ワールドユースデーパナマ大会】に派遣する若手信徒の選考会が実施されました。多数の応募者の中から、課題レポートと面接による厳正かつ公正な選考の結果、5名の若手信徒が決まりました。

一人当たりの渡航費用は約25万円、その支援のために献金活動を行って参ります。信徒の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

聖イグナチオ教会【ワールドユースデー 2019 パナマ大会】派遣準備委員会

ミサの時間 Mass

【平日 Weekday】主聖堂 Main Chapel

7:00/12:00/18:00 (日本語)
(土曜日 18:00 は主日ミサ)

【日曜日 Sunday】主聖堂 Main Chapel

7:00/8:30/10:00/18:00 (日本語)
12:00 (English) / 13:30 (Español)

【月の第1日曜日 1st Sunday】

Main Chapel 15:00 (Việt Nam)
Our Lady's Chapel 12:30 (Português) 16:00 (Polski)
Xavier Chapel 16:00 (Indonesian)

【月の第3日曜日 3rd Sunday】

Our Lady's Chapel 16:30 (Indonesian)

主任司祭：英 隆一朗

助任司祭：李 相源
田丸 篤

協力司祭：ヘネロソ・フローレス
ハビエル・ガラルダ
平林 冬樹
酒井 陽介

ブラザー：吉羽 弘明

シスター：イベッテ・サンチェス
(セントロ・ロヨラ)

ローズ・レミジオ
(ジョン・デ・ブリッド イングリッシュセンター)

カトリック麴町教会 (聖イグナチオ教会)

〒102-0083 千代田区麴町6-5-1

TEL 03-3263-4584 FAX 03-3263-4585

ホームページアドレス : <http://www.ignatius.gr.jp>